

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
016411_大樹町	①学校運営上の課題	その他	<p>・ふるさと教育の効果的な推進 大樹学と称し、小中高と地域と連携しながら取り組んでいる。 その中で課題は、以下2つある。</p> <p>①内容の精査 学年間、学校間の発展的なつながり ②外部との連絡調整 教職員の負担感軽減</p>	<p>小中高同士、学校と地域が互いにメリットがある効率的な実施。 学校毎に地域学校協働活動推進員の配置し、外部講師との連絡調整を行う。 また、南十勝長期宿泊体験協議会で委託を受け、外部講師として関わる。</p>	<p>実施に向けて、学校運営協議会の部会にて事業評価をしたりや事業のアイデア集め、取組の点検と改善に取り組むことで、地域と学校が一体となった協働的な取組を目指す。 また実施にあたり、人員を派遣することにより教職員の負担感の軽減を目指す。</p>	<p>学校運営協議会 学校毎の部会における学校評価に基づく報告 全国学力学習状況調査の質問紙における地域との関連を問う項目 ※留意事項 ・現状の数値は、R4年度の調査(質問番号27～30)の平均値 ・R5年度については、全国学調が5月頃までに実施予定であるため、事業評価のため指標としては適さない。 よって、R5年度は年度末に同様の内容による独自のアンケートを実施し、達成度を図る。 ・現状の数値については、小学校と中学校で数値の差が大きいため、それぞれ</p>	小 60 中 45	%	小 70 中 55	%	<p>3</p> <p>1 成果 ・継続的な事業実施 ・全国学調の質問紙においては、地域社会との興味関心の高さを問う設問で、全国・全国比で5ポイント程度高い結果となった。 2 課題 ・学校、地域、行政にとって、互いにメリットのある活動か ・小中高1校ずつの町における、継続的な事業実施</p>	教育委員会 学校運営協議会